日本統合医療学会 会報
IMJニュース
No.40
2022年11月30日発行

編集・発行　一般社団法人日本統合医療学会広報委員会 委員長　川嶋みどり　URL：http://imj.or.jp/
〒 170-0003　東京都豊島区駒込1-43-9　駒込TSビル 4階　一般財団法人口腔保健協会内
一般社団法人日本統合医療学会事務局　E-mail：imj@imj.or.jp　TEL：03-3947-8891

巻頭言

依然としてくすぶり続ける新型コロナウイルス感染症

伊藤　壽記
日本統合医療学会理事長
大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター所長

さて，10月から会計年度が変わり新たな1年がスタートしました。また，2018年秋に本学会の理事長になって3期目となります。一言ご挨拶申し上げます。

これまでいくつかの改革を行ってまいりました。まずは定款も含め各種規約などを見直しリニューアルしました。続いて，新しい認定制度に基づいた，認定医，認定師，認定協同師の申請が始まりました。新規の方は2019年からとなり，これまでの有資格者の方々は2022年7月をもって暫定期間とし資格を更新しました。また，しばらく止まっていた認定施設につきましても，今年に入って認定手続きを再開しています。

さらに支部会については，これまで各支部間で温度差がありました。支部会体制の見直しのためのワーキンググループを作って約2年かけて議論し規約等も含め整備しました。

また，役員理事の投票による選挙が初めて行われました。何分初めてのことでもあり，いくつか課題を残しましたが，2年先に向けて検討してまいります。

最後に，当初より問題のあった旧事務局体制を一掃して口腔保健協会に事務局を委託して，新たな組織を構築しました。会計などの不透明だったところは，法の専門家に入って頂いて一応の解決をみました。しかし，いまだ未解決の所も残っており，今後さらに検討していく予定です。そうしたこともあって，今年に入って学会の顧問弁護士を正式にお願いしました。今後起こりうる諸問題につき，その都度対応していく所存です。

このようにして，ようやく学会におけるガバナンス体制の骨格が概ね整備されたかと思っております。

さて，この3年間最も危惧された，想定外の出来事は新型コロナウイルス感染症Covid-19でした。2019年初頭から中国武漢市に端を発し，あっという間にパンデミックを引き起こした新興感染症でした。当初は治療薬やワクチンもなく唯一物理的防御のみで対応せざるを得ず，多くの犠牲を伴いました。11月初旬の現時点で，約4万7千人がなくなりました。これは東日本大震災での犠牲者の約2.6倍にもなります。その結果と思われますが，2021年の本邦における平均寿命は10年ぶりに低下に転じてしまいました。

ウイルスはアルファ株，デルタ株と変異を繰り返し，昨年末から新たなオミクロン株が出現し，最大規模の第7波を迎えました。幸い感染力は強いものの死亡者は少なく，医療現場がひっ迫する事態には至っていません。第3，4波での死亡率が1.82%，1.85%であったのに対して，オミクロン株が現れた第6波，第7波では0.17%，0.11%とパンデミック当初の1/16にまで低下し，ほぼインフルエンザ並みになってきています。ただし，インフルエンザとは異なり，一旦感染しますと，1/3に何らかの後遺障害（4週間以上続いたもの）を残します。そして，これが長期予後つまり今後どのような影響をもたらすかについては全く判っていません。特に肺に関する後遺障害は他の肺炎とは異なり，炎症の場が肺胞をとりまく間質に及ぶからです。また，心筋炎についても注視していく必要があります。一方，当初のワクチン接種率は80%となりましたが，3回，4回目と継続するにつれ，接種による効果も減弱しており，5回目からはオミクロン株BA.1ならびにBA.4/5にも対応する2価のワクチン接種が始まっています。

本学会では，Covid-19に対する対応につき，『新型コロナウイルス感染拡大の中で，一人ひとりが自宅で取り組める統合医療によるセルフケア』を作成しました。また2回にわたってオンラインセミナーを開催しました。今後も後遺障害含めて，統合医療による対応について引き続き進めていければと考えています。

トピックス Topics

日本統合医療学会学術研究セミナー開講のご紹介

｜吉田　紀子｜
日本統合医療学会学術委員会委員長

日本統合医療学会は伊藤理事長はじめ皆様方のご尽力により学会組織運営上のさまざまな課題が順次解決され，本来の学会活動が展開できる体制となってきました。

学会の最終的な使命は国民の全人的健康とQOLの向上に貢献することにあると思われますが，まず，わが国で統合医療が公的市民権を得るため，学会および学会員の学術レベルの向上が重要と考えられます。

辞書によると「学術とは専門的な研究として行われる学問であり，原理と応用・技術を含めて言う。学問とは一定の論理に基づいて体系化された知識と方法であり，人文科学，社会科学，自然科学などの総称。（英語ではscienceであり，scienceは科学と訳す）」とされています。

本学会は既存の医学会と異なり，統合医療という新たな次世代の医学医療に係る学術団体であることから，その学術研究課題は，学問としての論理すなわち基本的な哲学・定義等人文科学的な研究にはじまり，「統合医療のエビデンス」等の自然科学的，社会科学的研究にいたるまで，構造的で多岐にわたっています。

本来ならば，手段としての統合医療の依拠する学問としての「統合医学」の学術体系を構築するための基本的な研究から入るのが望ましいのですが，現実には特にCAM会員の方々から「自分のセラピーの効果を知りたい」「自分のセラピーを評価してもらい普及させるには何から始めればよいか？」「研究を進めるための基礎的知識を学びたい」等の声が多く聞かれます。

本学会では2021年度に板村論子小委員会長のご尽力により統合医療データベースが構築され，学術研究の環境も整ってきました。

そこで2022年度は，研究初心者向けに「学術研究の種類，エビデンスレベルや診療ガイドラインなどについて，次に医療モデルと社会モデルごとに初歩的な症例報告の仕方から研究，学会発表や論文作成の方法論について，さらに統合医療データベースの検索や活用法について」を内容とした学術研究の基礎的講座を初級コースとして9月に開催したところです。

結果は44名受講され，受講者からは「大変ためになった」「研究の進め方が理解できた」「さらに続きを学びたい」等の声が寄せられました。

次年度は中級・上級コースとして，症例対照研究，RCT，コホート研究，メタ解析，システマティックレビュー，診療ガイドラインに収載されるような研究，社会実装研究，統合医療評価指標の開発研究などについての研修を予定，さらに次年度は，手段としての統合医療の依拠する学問としての「統合医学」と統合医療の体系化等に関する哲学・人文科学的研究セミナーを企画検討中です。国内外で統合医療への評価が一層高まり，公的市民権を得られるよう全会員の智慧と精進により学術力を高めましょう。

多数の会員の皆様のご参加をお待ちしています。

寄稿

統合医療カンファレンスに参加してみませんか?

｜小池　弘人｜
小池統合医療クリニック

日本統合医療学会認定制度委員会では，2021年より統合医療実践の目的とした多職種連携の実現のため，オンラインによる「統合医療カンファレンス」を開催しております。

統合医療というと，とかく各論としての補完代替医療の概要やエビデンス，もしくは実際の取り組みやシステムなどに関心が向かうことが多くなります。当然，そうした事柄は大切ではあるのですが，それだけでは要となる「多職種連携」が実現できるわけではありません。そのためには，参加メンバー相互の理解と協力，そして全ての基盤としての「統合医療を実現したい」という，いわば共通の「約束事」が重要になります。これは「共通了解」とも言えるものです。

こうした約束事は，いわゆる言語的に表現できるものに限りません。非言語的な雰囲気といってよいものも含まれてきます。つまり統合医療におけるカンファレンスは，言語的・非言語的な約束事を互いに確認し合う取り組み，そのものでもあるのです。

カンファレンスの参加により，こうした統合医療実践に不可欠な「約束事」を感じ取って頂くのが，この「統合医療カンファレンス」の大きな目的です。そのためには講義を聞くような受け身の姿勢ではなく，各人が積極的に参加するライブ感が不可欠です。

提示された症例について，互いの知識を披露する場でもなく，誰かを責める場でもない。従来の「カンファレンス」というものへの思い込みの枠を外して，「共通了解」形成の場として，ご参加ください。参加された方々にとって，統合医療実践の新たな扉が開かれることをお約束します。

今年度の統合医療カンファレンスは2022年11月13日（日）に開催されました。今後は年2回ほどのペースで定期開催をしていきたいと考えております。

どなたでも参加可能で，基礎的な知識は問いません。皆様のご参加を心待ちにしております。

26回日本統合医療学会学術大会へのご参加を！

■**大会テーマ**：セルフケアと統合医療－With/Afterコロナの時代に考える
■**LIVE配信**：2022年12月17日(土)～12月18日(日)
オンデマンド配信：2022年12月28日(水)～2023年1月28日(土)
■**開催方法**：Web開催
■**大会長**：岡　美智代（群馬大学大学院保健学研究科）
※最新情報は随時「第26回日本統合医療学会学術大会（https://confit.atlas.jp/imj2022)」に掲載されます。本学会Webサイト（http://imj.or.jp/）からもリンクが設定されています。

新型コロナウイルスのパンデミック状況が長期化していますが，保健医療体制逼迫などにより，現在なお，感染者，濃厚接触者らが入院できず自宅待機を余儀なくされています。また，持病や体調不良があっても受診抑制するなどの事例も珍しくありません。まさに，今，国内外の多くの人々に統合医療の有用性を広める必要があります。さらに，感染予防策のためには，ワクチンのみに依存するのではなく，個々人のセルフケアが求められていると思います。

そこで，本大会のテーマを「セルフケア」に焦点を当てて行うことにしました。

また，もう1つのキーワードは「自然」です。自然豊かな群馬での開催と言うこともありますが，丘陵地や山地の面積が2/3を占めており，県境には2,000mを超える山々が連なっている自然環境での，登山や温泉が，まさにセルフケアの一翼をなすものだからです。

特別講演の1部をご紹介します。

◆会長講演：岡　美智代「セルフケアと統合医療－セルフケアの概念分析から考える」

セルフケアの定義には標準化されたものはありません。そこで，今回の学会では，セルフケアという用語を概念分析の観点から考えてみたいと思います。

◆招聘講演：柳田　邦男（ノンフィクション作家）「セルフケアとしての自己表現の営み」

柳田先生は，高齢者への「聞き書き」ボランティア活動にもかかわってこられました。闘病記・追悼記や人生記を書いたり語ったりする自己表現の営みは，まさにセルフケアの一翼をなすものと言えるとして，様々な「聞き書き」への語りなどで知り得たエピソードを交えながら，セルフケアとしての自己表現の営みの可能性と人間の「生きなおす力」のすばらしさについて語って頂けます。

◆特別講演：齋藤　繁（群馬大学医学部附属病院病院長）「感染症に負けない体づくりのための健康登山塾－群馬県の特徴を活かした健康増進法」

麻酔科医師でもある齋藤先生は著名な登山家でもあります。日本ヒマラヤ協会クラウン峰登山隊の遠征への参加，キリマンジャロやモンブラン・デュタキュルなどにも登っていらっしゃいます。

◆特別講演：一石　英一郎（国際医療福祉大学病院内科／予防医学センター教授）「医者が教える最強の温泉習慣」

多彩な火山地形の群馬には，草津温泉をはじめ数々の名湯がある温泉大国でもあります。今回は先生に，「医者が教える最強の温泉習慣」についてご講演いただけることになりました。一石先生は，温泉についてのご著書もあり，温泉を活用した健康増進にも精通していらっしゃいます。

なお，プログラムのように，統合医療に関して伊藤理事長他の特別講演が5題もある他，多彩なシンポジウムや交流集会，そして現地開催だからこそ楽しめる体験ワークショップを計画しています。また，性差と統合医療，災害と統合医療など，学会による企画も継続して実施する予定です。

残念ながら，当初は集合型開催として群馬県の温泉に入っていただき，セルフケアの効果を実感していただける機会を予定しておりましたが，新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策のため，やむなくオンライン開催とさせていただくことになりました。

突然の開催形式の変更で多大なるご迷惑をおかけして申し訳ございませんが，現在の感染状況を考慮した上での決定であることをご理解いただけますようお願い申し上げます。引き続き，皆様と有意義な学術交流ができるよう準備をしてまいります。多くの方のご参加をお待ちしております。

■大会プログラム・日程

〈2022年12月17日(土)〉

【第1会場】

8：50～9：00　開会式

9：00～9：50　大会長講演（オンデマンド有）

「セルフケアと統合医療－セルフケアの概念分析から考える」

座長：相原　由花（ホリスティックケアプロフェッショナルスクール学院長）

演者：岡　美智代（群馬大学大学院保健学研究科教授）

10：10～11：00　特別講演1（オンデマンド有）

「新型コロナウイルス感染症パンデミックを受けて，これからの在宅医療と病院医療を考える」

座長：久保　千春（中村学園大学学長）

演者：伊藤　壽記（日本統合医療学会理事長，大阪がん循環器病予防センター所長）

11：20～12：10　特別講演2（オンデマンド有）

「セルフケアと自宅でできるヨーガ療法」

座長：平塚　次男（一般社団法人日本ヨーガ療法学会）

演者：木村　慧心（一般社団法人日本ヨーガ療法学会理事長）

13：30～14：20　特別講演3（オンデマンド有）

「家族を支える医療介護連携」

座長：山田　久美子（統合医療研究所代表／医療法人俊寿会理事）

演者：須藤　英仁（群馬県医師会会長）

14：40～15：30　特別講演4（オンデマンド有）

「医者が教える最強の温泉習慣」

座長：福沢　嘉孝（愛知医科大学病院先制・統合医療包括センター教授）

演者：一石　英一郎（国際医療福祉大学病院内科／予防医学センター教授）

15：50～16：40　特別講演5（オンデマンド有）
「統合医療における心理療法～森田療法とマインドフルネス」
座長：北西　剛（きたにし耳鼻咽喉科/日本アーユルヴェーダ学会理事長）
演者：板村　論子（ピュシス統合医療クリニック）

【第2会場】
10：40～12：00　体験WS1
「適用範囲が幅広い熱布バックケアの実際」
演者：河合　桃代（帝京平成大学），内山　孝子（東京医療保健大学），大宮　裕子（目白大学），殿城　友紀（日本赤十字看護大学），茂野　香おる（淑徳大学），酒井　千恵（日本赤十字看護大学），川嶋　みどり（日本赤十字看護大学）
13：10～14：30　シンポジウム3
「心地よい時間を創るために自分で行う統合医療」
座長：松井　弘樹（群馬大学大学院保健学研究科）
演者：桐山　勝枝（高崎健康福祉大学），岡　美智代（群馬大学大学院保健学研究科），堀越　香（群馬大学大学院保健学研究科），関根　沙耶花（いやさかリゾートクリニック），絹村　友梨子（育英メディカル専門学校）
14：50～16：10　体験WS2
「カイロプラクティック体験ワークショップ」
座長：坂部　昌明（NPO法人ミライディア理事）
演者：吉野　俊司（全日本カイロプラクティック学会）

【第3会場】
10：30～12：00　シンポジウム1
「災害と統合医療：災害支援に必要な知識と役割とマナー」
座長・演者：小野　直哉（未来工学研究所）
　　坂部　昌明（明治国際医療大学）
演者：千島　佳也子（国立病院機構本部DMAT事務局災害医療課），大野　龍男（国立病院機構本部DMAT事務局災害医療課）
指定発言者：吉田　紀子（社会福祉法人恩賜財団済生会支部鹿児島県済生会支部長）
13：00～15：00　シンポジウム2
「ファシア：東西医学の架け橋」
座長・演者：小池　弘人（小池統合医療クリニック）
演者：須田　万勢（諏訪中央病院リウマチ膠原病内科），上馬　塲和夫（ハリウッド大学大学院教授）
15：20～16：40　体験WS3
「臨床アロマセラピーの理論と実践」
座長：桐山　勝枝（高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科）
演者：相原　由花（ホリスティックケアプロフェッショナルスクール学院長）

〈2022年6月19日（日）〉

【第1会場】
9：10～10：50　シンポジウム4
「自然治癒力を高める看護の力」
座長：川嶋　みどり（日本赤十字看護大学）
　　西山　ゆかり（聖泉大学）
演者：茂野　香おる（淑徳大学），内山　孝子（東京医療保健大学），川上　貴子（アカシア訪問看護ステーション），大宮　裕子（目白大学）
11：10～12：00　特別講演6（オンデマンド有）
「感染症に負けない体づくりのための健康登山塾－群馬県の特徴を活かした健康増進法」
座長：山本　竜隆（朝霧高原診療所院長）
演者：齋藤　繁（群馬大学医学部附属病院病院長）
13：00～13：50　特別講演7（オンデマンド有）
「認知症の最先端と統合医療：AIとCAMによる統合医療的認知症予防」
座長：蒲原　聖可（神奈川歯科大学大学院統合医療学講座）
演者：酒谷　薫（東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻）
14：10～15：30　体験WS4
「職場でできるストレス・マネージメント実習法椅子ヨーガ（アイソメトリック・ブリージング・エクササイズ）」
座長：長谷川　久恵（一般社団法人日本ヨーガ療法学会）
演者：岩崎　寿利（一般社団法人日本ヨーガ療法学会）
15：40～16：00　閉会式

【第2会場】
9：30～11：10　シンポジウム5
「慢性疾患と統合医療」
座長・演者：伊藤　壽記（日本統合医療学会理事長，大阪がん循環器病予防センター所長）
演者：鶴岡　浩樹（日本社会事業大学大学院福祉マネジメント研究科），岡孝和（国際医療福祉大学心療内科）
11：20～12：10　招聘講演（オンデマンド有）
「セルフケアとしての「自己表現の営み」」
演者：柳田邦男（ノンフィクション作家）
13：10～14：20　交流集会2
「ACP（アドバンスト・ケア・プランニング）とセルフケア」
座長：岡　美智代（群馬大学大学院保健学研究科）
演者：京田　亜由美（群馬大学大学院保健学研究科），剱持　貴史（群馬大学大学院保健学研究科），本井　裕二（公益財団法人丹後中央病院），松本　光寛（群馬大学大学院保健学研究科），小林　智美（日高病院がん看護専門看護師）
13：40～15：30　体験WS5
「ACP（アドバンスト・ケア・プランニング）や意思決定を支える，聞き書き体験」
座長：上星　浩子（群馬大学大学院保健学研究科）
演者：岡　美智代（群馬大学大学院保健学研究科），高橋　さつき（群馬大学大学院保健学研究科），松本　光寛（群馬大学大学院保健学研究科），板谷　真紀子（おひさま在宅クリニック），石倉　美穂子（伊勢崎市民病院）

【第3会場】
9：00～10：20　交流集会1
「実践ジャングルカンファレンス」
代表（ファシリテーター）：小池　弘人（小池統合医療クリニック）
10：40～12：00　シンポジウム5
「女性（性差）と統合医療」
座長：吉田　紀子（社会福祉法人恩賜財団済生会支部鹿児島県済生会支部長）
演者：小山　悠子（サンデンタルクリニック理事長），網

谷 真理恵（鹿児島大学医歯学総合研究科離島へき地医療人育成センター）

13：30～15：00　交流集会3

「熱布バックケア」

演者：殿城 友紀（日本赤十字看護大学），茂野 香おる（淑徳大学），辻 守栄（千葉救急センター急性・重症CNS），重見 美代子（美須賀病院），内山 孝子（東京医療保健大学），河合 桃代（帝京平成大学），酒井 千恵（日本赤十字看護大学），大宮 裕子（目白大学），川嶋 みどり（日本赤十字看護大学）

■事前参加登録

参加登録手続きは，大会HPサイドメニューの「参加登録」からお願いします。大会HPの「参加登録」画面の下部，「参加登録はこちら」ボタンより新規登録を行ってください。

〈登録期間〉

【後期登録】2022年11月1日(火)～12月16日(金)

〈大会参加費〉

参加区分	早期参加登録	後期参加登録
会員(本部会員･支部会員)	10,000円	13,000円
非会員	13,000円	15,000円
学　生	3,000円	3,000円

※会員：日本統合医療学会会員（本部会員・支部会員）となります。

※学生：大学院生を除くすべての学生（身分を証明する書類（学生証など）をメールまたはFAXにてお送りください）

※大会抄録集１冊は参加費に含まれております。（ただし，指定団体の会員の方は除く）

※以下指定団体の会員の方は，本大会の限定で日本統合医療学会会員の参加費と同額にて，第26回日本統合医療学会学術大会に参加可能です。
参加登録では「会員」として登録してください。特に所属は，会名を略さず指定団体名の正式名称を記載してください。

指定団体（順不同）

(公社)全日本鍼灸マッサージ師会/日本伝統鍼灸学会/(公社)日本鍼灸師会/全日本鍼灸学会/(一社)日本柔道整復接骨医学会/(公社)日本柔道整復師会/日本アントロポゾフィー医学の医師会/日本中医薬学会/日本アントロポゾフィー医療の会/日本中医薬研究会/日本ホメオパシー医学会/日本歯科東洋医学会/日本ホリスティックナーシング研究会/日本ヨーガ療法学会/(一財)MOA健康科学センター/日本アロマセラピー学会/統合医療カンファレンス協会/日本アーユルヴェーダ学会

1）参加登録期限

・2022年12月16日(金)の参加登録･参加費支払確認分までとさせていただきます。登録締め切り直前は回線が混雑します。アクセスできないこともありますので，余裕をもってご登録ください。

2）登録方法

オンライン登録のみの受付です。
大会ホームページの「参加登録はこちら」ボタンよりログインページへお進みください。

3）お支払い

お支払いはクレジットカード決済のみとなります。
参加登録後お支払い画面にお進みいただき，画面に沿って手続きをお願いいたします。
クレジットカードがないなど，どうしても決済できない場合に限り，大会事務局（群馬大学大学院保健学研究科 Email：imj2022@ml.gunma-u.ac.jp）までご相談ください。

4）参加証・領収書

クレジットカード決済をしていただくと，参加登録画面より参加証および領収書をダウンロードすることができます。
参加証および領収書の郵送はいたしませんので，ご了承ください。

■一般演題登録（ポスター発表）

〈発表形式〉

◆ポスター発表「研究報告」「症例発表」「事例報告（社会実践・実装等)」

・発表者にはあらかじめPDF形式にてポスターデータをご提出いただき，参加者は大会期間中にWeb上で自由に閲覧できます。なお，質疑応答の時間は設けておりません。

■大会運営事務局・問い合わせ等

群馬大学大学院保健学研究科
〒371-8514　群馬県前橋市昭和町3-39-22
FAX：027-220-8999（共用）
Email：imj2022@ml.gunma-u.ac.jp

事務局だより

【2022年7月～2022年11月までの会議等】

■2022年8月21日　次期代表理事選出の会合
■2022年8月22日　第4回業務執行理事会
■2022年9月23日　第5回支部のあり方ワーキンググループ会合
■2022年9月23日　2022年度賛助会員懇談会
■2022年9月23日　第3回理事会
■2022年11月9日　第1回業務執行理事会（2023年度）
■2022年11月29日　第1回理事会（2023年度）

【2022年7月～2022年11月までの学術大会・研修・セミナー等】

■2022年9月25日　第1回学術研究セミナー（初級コース）
■2022年11月13日　認定制度委員会企画統合医療カンファレンス
■2022年11月13日　認定研修に関する懇親会
■2022年11月18日　学会誌15巻2号・3号（抄録号）発行

【今後の予定】

■2022年12月17日・18日　第26回学術大会（オンライン開催）（オンデマンド配信：2022年12月28日～2023年1月28日）
■2023年1月　認定研修Part1～Part5　受付開始

編集後記

●山茶花がほころび始めましたが，またしても全国的な感染者増で第8波の到来が告げられています。上州の山並みを臨む温泉地での交流を念じていた第26回学術集会の企画委員会も，オンラインでの集会にギアチェンジしました。でも，どこからでも参加できるメリットを活かし，コロナ禍を吹き飛ばす勢いで参加しましょう。初めての選挙による新体制も発足します。統合医療の可能性を探り普及するための智恵と力がいっそう求められます。（川嶋みどり）